

## 川の駅建設予定地でイベント 水辺で一斉に乾杯



▲水辺で一斉に乾杯する参加者

7月7日、塚本地内の川の駅建設予定地で、水辺の創出を目指す「ミズベリング狩野川2017」が行われました。

同企画は、町と国土交通省で水辺に親しめる空間整備として、親水護岸や芝生広場、ドッグランなどの川の駅の整備開始を立ち上げるキックオフイベントとして開催。

ミズベリングとは、日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくプロジェクトで全国200か所で計画。狩野川流域では、函南町と沼津市で行われ、函南町では約100人が参加し、青い物を身につけ、自分の好きな飲み物を手にし、午後7時7分に水辺で乾杯をしました。

## しずおか型コミュニティースクールを設置 地域とともにある学校づくり

このほど、しずおか型コミュニティースクール設置により「丹那小学校CSオール丹那会議」「桑村小学校応援団会議」が行われました。

しずおか型コミュニティースクールとは、「学校・保護者・地域住民が連携し、信頼を深め一体となって学校運営の改善、児童・生徒の健全育成に取り組む地域とともにある学校づくり」を目指す学校のことです。

町では、総合教育会議で策定した「重点施策推進プラン」に基づき丹那小学校、桑村小学校を同スクールとして、「地域とともにある学校づくり」を推進し、現在すでに両小学校で行われている学校と地域の一体活動をさらに充実させていきます。



▲第1回「丹那小学校CSオール丹那会議」の様子

## 9人の中学・高校生と引率者が出発 アメリカ・カーマン市で教育研修



▲壮行会へ参加する教育訪問団の中学・高校生

7月25日、函南町役場で姉妹都市であるアメリカ合衆国カリフォルニア州カーマン市への教育研修訪問団壮行会が行われました。

カーマン市へは、9人の中学・高校生と2人の引率者の11人が訪れ、現地の学校や農場などを視察し、ホームステイなどを通じて交流を図ります。滞在期間は7月25日～8月3日の10日間で、9月21日（木）に帰国報告会を行う予定です。

訪問団の学生を代表して、宇野遥子さん（函南中2年）が「期待と不安でいっぱいだが、アメリカの文化などをしっかり学んできたい」と意気込みを述べました。

## 出水期や豪雨などに備え 水防技術を学ぶ



▲全員で協力して積み土のう工法を行いました

6月18日、函南町肥田簡易グラウンドで水防訓練が行われました。

同訓練には、消防団員、各地区の役員、消防団サポート隊員、田方北消防署員、町議会議員、町建設事業防災協力会員、国土交通省沼津河川国道事務所職員など約300人が参加し、土のう作りや救命救急講習、消防・防災車両の展示、模擬火災中継訓練などを行いました。

これからの出水期、豪雨などに備えて河川が氾濫する可能性を想定し、改良積み土のう工法や水防マット工法を学び、連携体制の確認をしました。

## 妊婦への支援拡充や個人情報などに配慮 子育て世代包括支援センターが開所

6月19日、函南町保健福祉センター内に「子育て世代包括支援センター」（Hello あかちゃん・おひさまルーム）を開所しました。

同施設は、これまでの窓口相談から個人情報などに配慮した個室になっています。また、母子手帳の交付後の妊婦と保健師が関わる機会が少なかったことを改善し、妊娠届出の提出から全ての妊婦に対し、担当の保健師を配置し「マイ保健師」を紹介します。また、母子手帳発行時にはサポートプランを提供し、妊婦から出産前後のサービスなどをまとめたプレママ情報ファイルを配布し、出産前後の切れ目の支援を行っていきます。



▲個人情報などを配慮し個室の相談室になっています

## 鍵山潤さん（塚本） 全国高校総体での活躍を誓う



▲全国高校総体出場を報告する鍵山さん

6月19日、日大三島高校3年の鍵山潤さん（塚本）が5月に行われた静岡県高校総体の柔道個人戦81キロ級で優勝し、全国高校総体への出場を決めたことを森町長に報告しました。

鍵山さんは父親の影響で小学1年生から柔道を始め、函南中へ進み、「地元の高校から全国大会を目指したい」と日大三島高校へ進学。得意技は「内股」で、強気に攻める柔道が自分の持ち味とのこと。

全国高校総体では、「自分の柔道を貫いて上位進出を果たしたい」と意気込みを話してくれました。